

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	《チームでつくる介護計画とモニタリング》 ケース担当が中心となり、利用者様のその時の状態に合った介護計画を作成しえる。また、定期的にモニタリングを行っているが、そこから目標に落とし込めていない。	定期的なモニタリングから、その方の現状に合った目標立てを行っていきます。	①ケース担当は、毎月のチームミーティングでモニタリングの結果を伝え、チームで検討し介護計画書に反映していきます。 ②介護計画書のoff-JTを9月と3月に開催し、KOMIケア理論を基にした考え方を学ぶ機会を設け、ケアの視点を養っていきます。	12ヶ月
2	40	《食事を楽しむことのできる支援》 ユニットでご飯を炊いており、ご飯の炊ける匂いを感じて頂いている。食後の片付けやテーブル拭きなど出来る範囲で行って頂いているが、職員が行っている事も多く、残存機能を活かせていない。また、居室対応のご利用者様もあり、食事の時間の見守りが十分とは言えない。	ご利用者様の出来ることに着目し、残存機能を活かしていきます。 食事の時間が安全になるよう、業務の見直しをし、改善していきます。	①毎食の食事の盛り付けや食後のテーブル拭きなどご利用者様の出来ることを精査し、実施していきます。 ②食事の時間が安全になるよう、その時のご利用者様の身体状態に合わせ、お部屋でも安全に食事が召し上がれるよう食事の提供時間の見直しを検討してきます。	3ヶ月
3	49	《日常的な外出支援》 外出の企画がある際には、ご家族へお知らせしご家族を交えた外出を行っているが、年間計画など外出が楽しみとなるような工夫が十分ではない。	ご家族を交えた外出の機会を増やして行く事で、ご家族もにケアに参加して頂き、ご家族・職員で共にご利用者様を支えていける仕組みを作っていきます。	①グループホーム内の掲示板に外出のお知らせを掲示していき、ご利用者様・ご家族共に外出がより楽しみとなるように工夫していきます。 ②運営推進会議など、ご家族が集まる場でも外出のアナウンスをすること、また、面会時などご家族にお声かけしていきます。 ③年間計画を作成し、ご家族にもお知らせしていきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。